

平成 30 年 1 月

ご関係者様各位

ウィメンズ・ヘルス・アクション実行委員会事務局
(読売エージェンシー内 担当：岡下、坂本、井澤)
〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-1-12
TEL 03-5226-9950

ウィメンズ・ヘルス・アクション シンポジウム in 東京 ～女性が健やかに輝きつづける社会へ！～

開催のご案内

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、ご高承のように現代は女性の社会的進出・活躍が目覚ましい一方で、女性の疾病や社会問題が潜在化し、その健康リスクはわが国の経済的発展をも脅かす問題となっており、早急な対策が望まれます。

今回、女性の健康に関する正しい情報や検診の大切さなどを広く国民へ周知するべくまた社会全体の理解促進と理解醸成を目指して、『ウィメンズ・ヘルス・アクション～女性が健やかに輝きつづける社会へ！～』と題し、2018年3月の「女性の健康週間」に向け、東京シンポジウムの開催を予定しています。

つきましては、本事業の開催にあたり是非広くご来場を賜りたく、ご案内申し上げます。

謹白

『ウィメンズ・ヘルス・アクション』シンポジウム概要

先着500名の事前申込制：定員数に達し次第、応募締切となります

【実施日時】：平成30年2月28日（水）13:30～16:30 予定（13:00 開場・受付開始）

【会場】：東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール（文京区本郷7丁目3-1）

【予定来場者数】：約500名（事前申込制）

【主催】：ウィメンズ・ヘルス・アクション 実行委員会 *次頁参照、読売新聞東京本社

【後援（予定）】：内閣府男女共同参画局、厚生労働省、経済産業省、（公社）日本産科婦人科学会、（公社）日本産婦人科医会、（公社）日本医師会、（公社）日本助産師会、（公社）日本薬剤師会、（特非）女性医療ネットワーク、（特非）女性の健康とメノポーズ協会、（特非）日本医療政策機構（HGPI）、（一社）日本家族計画協会、（一社）日本女性医療者連合、ウェルビーイング政策を提言する女性医師懇話会、日本女性ウェルビーイング学会 ※順不同

【メディア掲載】：シンポジウムの模様は、読売新聞 全国版及びNHK（Eテレ）にて採録掲載・放送される予定です。*企画申請中（3月初旬～4月上旬予定）

以上

【 実行委員名簿 】

代表 吉村 泰典（内閣官房参与、慶應義塾大学名誉教授）

副代表 大須賀 穰（日本産科婦人科学会 女性活躍のための健康推進委員会 委員長）

対馬 ルリ子（日本産科婦人科学会 女性活躍のための健康推進委員会 副委員長、
女性医療ネットワーク理事長）

委員 高階 恵美子（参議院議員 前日本看護協会 常任理事）

自見 はなこ（参議院議員 日本医師連盟・日本小児科医連盟 参与）

山本 詩子（日本助産師会 会長）

堀 美智子（元日本薬剤師会 常務理事、日本女性薬局経営者の会 会長）

高松 潔（日本女性医学学会 理事、東京歯科大学教授 産婦人科部長）

津田 喬子（日本女医会 監事、日本女性医療者連合 代表、名古屋市立東部医療
センター名誉院長）

宮崎 千恵（岐阜県産婦人科医会 会長）

赤澤 純代（金沢医科大学 集学的医療部総合診療センター副センター長 女性総合外来）

村島 温子（国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター主任 副センター長）

北村 邦夫（日本家族計画協会 理事長）

三羽 良枝（女性の健康とメノポーズ協会 理事長）

小山田 万里子（日本医療政策機構 副事務局長）

能松 昌子（読売新聞東京本社 広告局広告第二部長）

勅使河原 史彦（毎日新聞社 広告局第一広告部長）

山本 博之（NHK Eテレ・TVシボジウム「女性が健やかに働く社会へ」プロデューサー）

奥村 孝（株式会社読売エージェンシー 第一営業局次長営業二部長）

オブザーバー

知念 希和（厚生労働省 健康局健康課 女性の健康推進室室長）

紺野 春菜（経済産業省 商務・サービスグループヘルスケア産業課 係長）

池田 裕美枝（京都大学医学部附属病院産科婦人科非常勤研究員、女性医療ネットワ
ーク理事）